

挨拶とは、相手の存在を認めること。

挨拶なくして円滑な関係はあり得ない。

一緒に暮らし始めても、挨拶あいさつだけは続けましょう。

いついかなるときも、挨拶あいさつだけは必要不可欠。

仲がいいときだけではありません。

元気がないときや疲れているときも、挨拶あいさつだけは続けましょう。

たとえ喧嘩をして不仲になったとしても、挨拶あいさつだけは続けること。

挨拶あいさつとは何か。

単なる社交的・儀礼的な言葉ではありません。

挨拶あいさつとは、相手の存在を認めることでもあります。

挨拶あいさつをするからこそ、円滑にコミュニケーションを始めることができ、良好な人間関係を築けます。

挨拶あいさつをしなくなると、相手の存在を認めないことになります。

無視をすると「あなたはこの世にいません。私にとって価値の低い存在です」と言っているのと同じになります。

相手の存在を否定していることになります。

挨拶あいさつがなくなると、喧嘩をしていなくても、2人の関係に不協和音が生じ始めます。

そのため、どんなときでも、挨拶あいさつだけは続けましょう。

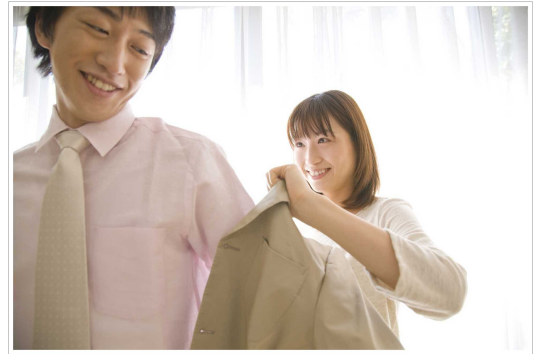
朝起きたら「おはよう」と挨拶あいさつをする。

寝るときは「おやすみ」と挨拶あいさつをする。

「いってきます」「いってらっしゃい」も「ただいま」「おかえり」も大切な言葉。

挨拶あいさつをするたびに、相手の存在を認めることになります。

挨拶あいさつに重要な情報が含まれているわけではありませんが、心をつなぐ機能があります。



「存在してくれてありがとう。これからも仲良くしていこう」と言っているのと同じです。

あいさつ
挨拶は、結婚をしても老夫婦になっても、一生続けたい習慣です。

喧嘩をして不仲になっても、あいさつ挨拶さえ続けていけば、だんだん仲が戻っていくのです。

同棲を仲良く楽しく過ごす方法 その3

どんなときでも、挨拶だけは続ける。